

令和3年度 臨時研修会 報告書

主 催：一般社団法人 三重県介護支援専門員協会 三四支部
 日 時：令和3年12月16日 19時00分～21時00分
 研修方法：ZOOMによるオンライン研修
 内 容：「歯科との連携について」
 ～介護支援専門員のアンケート結果を踏まえて～
 講 師：一般社団法人 四日市歯科医師会 事務理事
 医療法人 HIMAWARI 理事長 歯科診療所ひまわり 井上 博先生
 参加者：会員40名・非会員1名



今回の研修は、歯科診療所 ひまわりの井上先生にアンケート結果を踏まえて「歯科との連携について」ご講義頂きました。要介護者のおよ9割に専門的口腔ケアが必要というデータがあるものの、実際に歯科受診した要介護者は3割に満たない状態であるなど、歯科との連携に至っていないケースが多い現状を踏まえ、我々介護支援専門員としての口腔についての意識を改めて考えるきっかけとなる内容でした。

メタボリック・ドミノの考え方で、様々な病気の要因の根本の部分に、歯科の状態が大きく関わってきております。初回アセスメントの時点で必要な方へ歯科受診の勧めを行い、スムーズな歯科医師との連携を図れるよう心掛けていきたいと思っております。

歯科との連携について

～介護支援専門員のアンケート結果を踏まえて～



一般社団法人 四日市歯科医師会
 専務理事 井上 博

- 四日市市の要介護の方：8346名（要介護4・5＝2042名）
- 歯科治療が必要な人の割合：74.3% ⇒ 6200名？
- 専門的口腔ケアが必要な人の割合：68.5% ⇒ 5700名？
- 四日市市の居宅療養管理指導 医科：1400名 歯科：300名
- 8020達成者が60%なら、歯科治療や口腔ケアはもっと必要？？

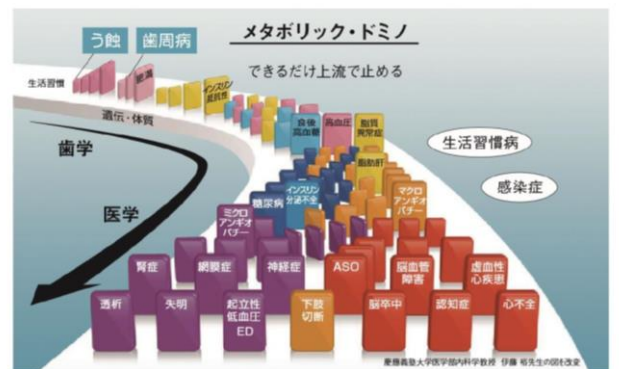
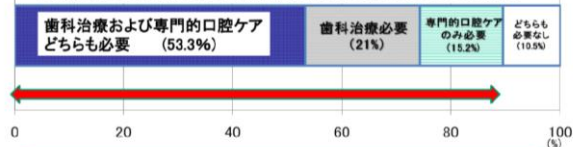


図1 医学の上流に位置する歯学。メタボリックシンドロームなどの生活習慣病の発生をさかのぼると、栄養摂取に関与する咀嚼や咬合機能、そして重要な口腔内細菌の影響へとたどり着く。

要介護者の口腔状態と歯科治療の必要性

厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業)2002
 (対象:要介護者 368名 平均年齢81歳)

要介護者の約9割に歯科治療または専門的口腔ケアが必要



しかしながら実際に歯科受診した要介護者は約27%

要介護高齢者における歯科医療の需要・供給体制には差がある。

「ある要介護の方」がいます。
 介護支援専門員であれば、
 誰でも同じプラン、
 同じ支援ができると思いますか？

